シリーズ 市政の今

まちの活力につなげる 幹線道路の整備

シリーズ 市政の「今」。今回は、舞鶴市の幹線道路の整備について、現状と今後の予定などをお伝えします。

▲国道27号西舞鶴道路整備区間（赤太線）

▲整備中の国道27号西舞鶴道路（倉谷）

◆道路の整備状況

快適な生活を営む中で、道路環境は重要な要素の一つです。道路環境を改善することや、高速道路へのアクセスの向上は、まちの活力に直結するための重要な施策と位置付け、国・府、関連機関と連携して、取り組みを進めています。

国道27号西舞鶴道路

国道27号西舞鶴道路は、国によって新たに造られる、上安から京田を結ぶ4・9キロメートルの4車線道路です。現在、事業用地の取得は約6割（面積比率）が完了し、倉谷地区と京田地区では工事に取り掛かっており、整備が進んでいる様子が確認できる場所も出てきました。

朝夕の通勤ラッシュ時や休日には、西市街地の主要交差点で交通混雑が発生していますが、西市街地の通過のみを目的とする交通を、西舞鶴道路が受け持つことで、市街地の交通混雑の緩和が期待されます。また、舞鶴若狭自動車道と市街地のアクセスが強化されるため、観光客数の増加や、京都舞鶴港と直結する臨港道路上安久線の整備と併せることで物流機能が強化されます。

府道小倉西舞鶴線・白鳥トンネル

府道小倉西舞鶴線（白鳥街道）は、東西市街地を最短経路で結ぶ重要な道路ですが、白鳥トンネル前後の区間は交通の集中により渋滞が発生しやすいことに加え、トンネル内は幅が狭く歩道がない状態にあります。

これらの状況を改善するため、京都府において、新たなトンネルを増築し、4車線にする事業が進められています。新トンネルには歩道が設置されて、現在のトンネルについても、車両が安全に通行できるように拡幅整備を行う予定です。

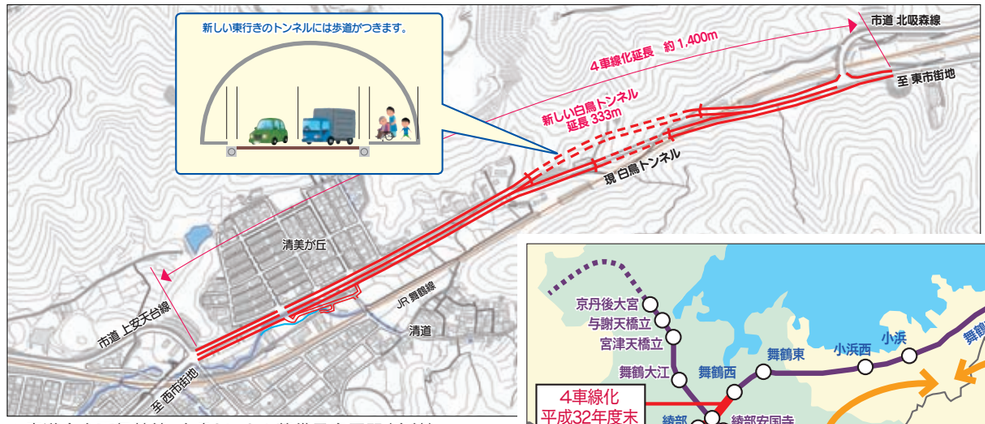
現在、府による用地取得が進められており、平成31年度のトンネル掘削工事の開始を目指して取り組まれています。

舞鶴若狭自動車道

丹後・丹波・若狭地方と京阪神地方を結ぶ舞鶴若狭自動車道は、利便性と産業振興に大きく貢献している高速自動車道です。

現在、舞鶴西ＩＣ（インターチェンジ）から綾部ＰＡ（パーキングエリア）の区間と、綾部ＩＣから福知山ＩＣの区間で4車線化工事が進められています。舞鶴市内では、昨年、真倉トンネルが貫通し、今後、舗装工事やトンネル設備工事などが進められます。

この工事が完成することにより、舞鶴西ＩＣと吉川ＪＣＴ（ジャンクション）との区間約76キロメートルが全て4車線になり、混み合う時間帯であっても、これまでよりスムーズな通行が可能になります。また、中央分離帯が設置されることで、対面通行区間がなくなり、より安全に走行できるようになります。完成予定は平成32年度末です。



▲府道小倉西舞鶴線・白鳥トンネル整備予定区間（赤線）

▲舞鶴若狭自動車道4車線化整備区間（赤線）

整備道路	状況
国道 27 号西舞鶴道路	用地の約6割を取得 倉谷・京田地区で工事開始
府道小倉西舞鶴線・白鳥トンネル 4車線化	平成 31 年度トンネル掘削工事 開始を目指して用地を取得中
舞鶴若狭自動車道（舞鶴西 IC ～福知山 IC）4車線化	平成 32 年度末完成予定

◆道路がつなぐ まちの未来

これまで、市民の皆さんに、道路整備のための用地の提供や工事に係る交通規制などにご協力いただいたことで、道路整備が着実に進んでいます。現在進められている道路についての整備が完成すると、市民の皆さんにとって交通混雑の緩和や安全性の向上、高速道路へのアクセスが良好になり、舞鶴市の交通事情は格段に良くなります。

さらに日本海側の重要拠点港である京都舞鶴港との連絡が向上することによる物流機能の強化や、府北部を訪れる観光客が目的地までスムーズに移動できることなどによる経済効果も期待されます。

また、幹線道路は災害時に緊急避難路や救急搬送のために重要な役割を持つため、これらの整備が進むことで防災面での機能の向上も図られます。

今後も、道路環境を整え、魅力あるまちをつくるため、引き続き市民の皆さんのご理解とご協力をいただきながら、国や府と連携を密接にし、活力あるまちづくりを進めていきます。